

越前国古今名蹟考 十一 坂井郡中  
(松平文庫(福井県文書館保管))

秋季企画展

# かなづぶ かなづぶ かなづぶ 江戸時代の金津

あわら市郷土歴史資料館

開催期間 令和3年

9月18日(土)~11月14日(日)

(前期 9月18日~10月15日、後期 10月16日~11月14日)

開館時間 午前9時30分~午後6時(最終入館は午後5時30分)

休館日 毎週月曜・毎月第4木曜日  
(これらの日が祝日の場合はその翌日)

観覧料 一般 200円、団体(10名以上) 160円  
(中学生以下・市内の高校生・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料)

平本良充像  
(あわら市北潟  
公民館蔵)



諸役人并町在御扶持人姓名  
(一)御役人列集(松平文庫(福井県文書館保管))

主催:あわら市教育委員会

後援:福井新聞社、NHK福井放送局、FBC福井放送、福井テレビ、  
FM福井、福井ケーブルテレビ/さかいケーブルテレビ

あわら市春宮二丁目14番1号(金津本陣IKOSSA2階)  
TEL.0776-73-5158

郷土歴史資料館ホームページ▶▶



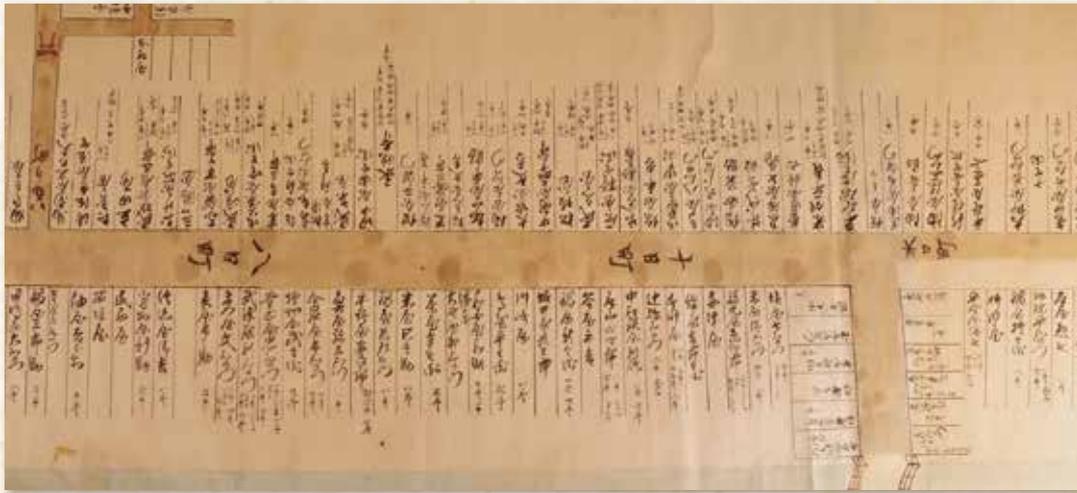
かなづぶぶぎょう えどじだい かなづ  
**金津奉行と江戸時代の金津**

企画展概要

金津奉行は、福井藩の奉行職の名で、九頭竜川以北の領地を治めました。加賀国に接するという地理的条件からも、福井藩の家老に直属する重要な役職でした。

金津奉行は、慶長18年(1613)から安政4年(1857)までの間、絶えることなく32代続きました。金津奉行を輩出した合計20の家の中には、奉行職を務めた後に家格が上げられた例も複数見られ、その重要性が垣間見えます。

本展では、奉行所が置かれた江戸時代の金津の町や、奉行所の日々の仕事内容が分かる資料を展示するとともに、歴代金津奉行の人物についても紹介します。



北金津の家並み図(個人蔵)



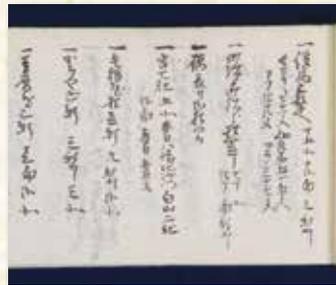
平本良隆像(あわら市郷土歴史資料館蔵)



似せ金銀銭拵へ禁止の高札(個人蔵)



金津御茶屋に設置された瓶花図(個人蔵)



三金津村明細帳(福井県文書館蔵)

関連イベント

1 講演会「金津奉行のおしごと」

日時: 10月3日(日) 午後1時30分～午後3時  
 講師: 堀井雅弘氏(福井県文書館古文書調査専門員)  
 場所: 市民文化研修センター 大ホール(金津本陣IKOSSA 3階)

事前申込開始

9月18日(土)～

定員30名

2 外部イベント  
 「南金津巡り～金津奉行所跡ほか～」 雨天決行

日時: 11月3日(水・祝) 午前9時30分～午前11時30分  
 講師: 林淳(当館学芸員)、金津まちなかガイド  
 中央公民館主催公民館講座「金津の歴史と街歩き」との共催

